

善光寺西街道・北国街道ひとり歩き旅

今回は最初に、善光寺西街道を中山道の洗馬わかれされから篠ノ井追分まで歩き、電車で北国街道の起点の信濃追分まで移動して、ここから小諸・上田・戸倉そして篠ノ井追分を再び通り、善光寺、牟礼・野尻そして関川の関所を越え、関山・高田・柿崎・柏崎・終点の出雲崎まで約284kmを歩く。

第1日目5月8日)善光寺西街道(洗馬～岡田)



中山道洗馬宿本陣跡



洗馬わかれされ
右方向は中山道
左直進は善光寺西街道



郷原宿の家並
左手前は本陣



郷原宿区画割と古井戸
の説明表示



冠木門のある村井宿本陣
現在は居酒屋



名主役を務めた中田家



牛つなぎ石
上杉謙信が武田信玄に塩を送った牛を繋いだとも言われる



国宝松本城

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約32km

第2日目5月9日善光寺西街道(岡田～麻績)



岡田宿の家並
左手前は本陣兼問屋跡



道標と番所跡
「右江戸海道(街道)左せんく王うし道」番所は女性・白木・麻などの出入りを監視した



街道は通れないのか？
野生動物から農作物を守るためのもので、開けて通れる。必ず閉めること



刈谷原峠(善光寺西街道最高地点)
往時は3軒の茶屋があった



路傍の庚申塔ほか



刈谷原宿脇本陣兼問屋
見事な老松が枯れかかっている



会田宿
立ち峠に向かい坂道が続く



松澤家長屋門



信濃観音霊場二十番岩井堂



立峠への厳しい上りが続く



立峠茶屋跡
往時は4軒の茶屋があった



立峠の石畳
芭蕉の小道とも言い約500m続く



西条宿(間の宿)の茶屋本陣(左側)



青柳宿本陣
冠木門と黒塀に囲まれた豪邸



青柳の大切通し
江戸期に4回も切り下げ長さ27m
巾3.3m高さ6m



駒ヶ石
木曾義仲初陣の時、軍馬の勢いが強く
石に蹄の跡が残ったと言われる



麻績宿本陣(瀬戸屋)



もう一つの麻績宿本陣(中橋白井家)

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約34km

第3日目5月10日善光寺西街道(麻績～篠ノ井追分)



馬の水飲み場 この先もお仙の茶屋跡
など通り、聖湖まで上り坂が続く



聖湖
湖岸左には猿ヶ馬場峠がある



火打石の一里塚
善光寺西街道で唯一原形を留めている



七曲りの松
間の宿桑原の豪農・造酒家和田家の
庭にあり、江戸期から枝を広げている



間の宿桑原の伴月楼記念館
佐久間象山も訪れていた



稲荷山宿本陣
この本陣はめずらしく街道に面していない



篠ノ井追分
往時にはここに右京いせ道・左江戸
街道の道標があった。現在は篠ノ井
追分宿碑が立っている。ここで北国街
道と善光寺西街道が合流し善光寺へ
と向かうが、北国街道の起点、中山道
信濃追分に電車で移動する。

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約25km

第4日目5月11日北国街道(追分分去れ～田中)



中山道追分宿西の枡形



追分の分去れ

中山道と北国街道がここで分かれる。
左中山道・右北国街道。北国街道を
善光寺を通り終点出雲崎に向かう。



追分原から見る浅間山



原形を留める馬瀬口の一里塚
街道からは500m程離れているが...



小諸城三の門



小諸宿本陣



布引観音道標
牛に引かれて善光寺参
りの古事のある布引観
音への道標。
「ひたり布引観音道」と
刻まれている。



力士雷電の碑

江戸(右)と明治(左)があり、右は佐久間象山筆で、碑の断片を持ち帰ると出世や勝負に勝つとの迷信で、持ち帰る者が多く碑文が読めなくなり、左を象山夫人や勝海舟らが新設した。



加沢地区の静かな街道筋



田中宿入口付近にある六地藏尊



田中宿の家並

すっかり新しくなり宿場面影はほとんどない

本日はこの次の海野宿を通り大屋駅までの予定であったが、夕暮れも迫りまた海野宿はじっくりと見たい所でもあったので、本日はここで終わりとした。

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約32km

第5日目(5月12日)北国街道(田中～戸倉)



田中宿勝軍地蔵

煩惱や悪行に勝つ仏様で、防火神としても信仰されていた



海野宿家並

宿場の中央を用水が流れ宿場の景観がよく残されている



海野宿うだつ(防火)と小屋根
(気抜き)のある旧家



長屋門を持つ海野宿本陣



信濃国分寺近くの千曲川の太鼓岩



上田宿海野町にある本陣跡



上田宿柳町
往時の風情が残る町並



上田藩主屋敷門
今は藩主屋敷跡には上田高校がある



上田城

徳川軍を2度にわたり退けた。
来年のNHK大河ドラマは戦国武将
の真田幸村の生涯を描く「真田丸」
でさぞ盛り上がることでしょう。



村上義清公墓所
武田信玄との戦で2度撃退した坂木の武将



坂木宿本陣表門



街道最大の難所横吹八丁
右上の山腹を巻いて通っていた



筭の渡し
遂に武田信玄に敗れた村上義清、その奥方が千曲川を渡り落ちのびる際お礼として船頭に筭を渡したとされる



上戸倉宿本陣



下戸倉宿下の酒屋

季節外れの台風の影響で、2時間ほど雨に降られ夕闇の中本日の予定終了

今日歩いた距離(寄り道・迷い道を含む)約34km

第6日目(5月13日)北国街道(戸倉～新町)



荒砥城下よりの矢代方向の眺望
荒砥城には開門前で入れず



矢代宿旅籠藤屋
今も旅館を営む



矢代宿須須木水神社前の道標
善光寺へ四里



矢代の渡し
新幹線の向こうに渡しがあった
今は渡れないので上流の篠ノ井橋
を大きく迂回するしかない



篠ノ井追分宿碑
ここでふたたび善光寺西街道と合流する



見六橋の道標
「せんく王うし(善光寺)道」と刻まれ、
方向を指差した珍しいもの